

氏名	小川孔美	部署	社会福祉子ども学科	職名	講師
研究分野	・高齢者福祉 ・高齢者虐待防止 ・専門職連携教育(IPE) & 専門職連携実践(IPW)				
学位	修士(社会福祉学)				
学歴	1999年日本女子大学社会福祉学科、2001年日本女子大学大学院 人間社会研究科 社会福祉学専攻博士前期課程、2016年 首都大学東京大学院 人文科学研究科 社会行動学専攻 社会福祉学 後期博士課程満期単位取得退学				
経歴	2003年 埼玉県立大学保健医療福祉学部 社会福祉学科助手、2011年 埼玉県立大学保健医療福祉学部 社会福祉学科 講師				
所属学会(役職)	日本社会福祉士学会、日本高齢者虐待防止学会、日本保健医療福祉連携教育学会(IPW委員会)				

【2016年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	みさと団地調査会からの提言 みんなで創る みさと団地 未来プロジェクト	共著	みさと団地調査会;P31	森山千賀子、小川孔美、岩館豊、須永咲、栗原真史、藤後希生、鈴木優子、安達智則	2016.8
2	「介護職の役割、専門性と多職種との連携」『介護の理念と基本』	共著	介護職員初任者研修テキスト2016;P113	介護職員初任者研修テキスト編集委員会、小川孔美他	2017.3
3	2016年度アドバンス講座テキスト地域ケア会議	共著	地域産学連携センター;P74	小川孔美、島末恵子	2016.6
(2) 論文					
1	IPE・IPWを両輪とした地域包括ケアシステムの必要性	単著	保健医療福祉連携9巻2号、p184-187	小川孔美	2016.10
2	A救命救急センターにおける長期入院高齢者患者における課題	単著	第17回 埼玉県健康福祉研究発表会報告書	小川孔美	2016.2
3					
(3) 学会発表					
1	施設内虐待予防のための治療的会話に基づくグループワーク研究-介護老人福祉施設職員が勤続年数に応じて抱える介護上の困難と課題-	単著	第13回日本高齢者虐待防止学会	○小川孔美	2016.7
2	地域を基盤としたIPEの可能性を探る	単著	第9回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会	○小川孔美	2016.8
3	地域包括支援システム構築のための地域ケア会議-7市1町における多職種連携実践(IPW)課題	共著	第9回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会	○小川孔美、原和彦、木下聖	2016.8
4	UR団地における地域包括ケアシステムの構築-みさと団地アンケート調査結果からの一考察	共著	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会第7回学術集会	○小川孔美、安達智則、森山千賀子、鈴木優子、福田千栄、竹田しのぶ、岩館豊、栗原真史、須永咲	2016.9
(4) その他					
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別		研究期間	
1	該当なし				
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	高齢者福祉論	2016.4~2016.8	高齢者福祉における最近の動向について、厚生労働省の各種審議会、介護保険制度の最新情報を取り入れた講義を展開		
2	社会福祉概論	2016.4~2016.8	対象が1年生のため、社会福祉の基本的概念が深まり、興味、関心が持てる内容を展開		
3					

(2) 演習				
1	社会福祉演習	2016.4～2016.8	社会福祉の対象を見つめる視点を掘り下げるとともに、大学生としてのアカデミックリテラシーの向上となる演習を行った	
2	社会福祉演習Ⅳ	2016.10～2017.2	社会福祉におけるコミュニティワークの概念が定着できるよう、コミュニティへのアプローチに関する提案(支援プログラム)の必要性等について、フィールドリサーチを取り入れ、社会各資源との調整と助言に力を入れた。	
3				
(3) 実習				
1	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	2016.10～2017.2	ソーシャルワーク実習指導Ⅰで何を学ぶのか理解を深めるため、先輩の体験談を聞き、互いにディスカッションできる場を取り入れた。	
2	ソーシャルワーク実習	2017.2～2017.3	ソーシャルワーク実習に安心に取り組める環境づくりのため、実習指導者様との綿密な連絡、調整を行うとともに、学生とは、いつでも連絡をとりあえる状況とした。	
3	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	2016.4～2016.6	ソーシャルワーク実習にて学んだことを、十分に言語化、表現し、自身の専門性の強化に繋がる助言指導を行った。	
4	IPW実習担当	2016.10	埼玉県立大学で深めてきたIPE,IPWの概念が伝わるよう、事前学習の内容をはじめ、現場で学ぶ内容を、施設ファシリテーターと相談しながら深めた。	
(4) 論文指導				
1	卒業課題研究指導	2016.4～2017.3	主指導:8名	
(5) その他				
1	サークル活動顧問(5サークル)	2016.4～2017.3	学生ボランティア団体MAGO、プレーメン(合唱)、卓球、ALS夜間介護ボランティア海、僕らの夏休みProject 5つのサークルの顧問として支援	
2	社会福祉士国家試験受験支援	2016.11～2017.3	社会福祉士国家試験受験のためグループ学習を希望する学生に過去問題の解説及び、最新の動向について指導した。	
3				
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会等の講師				
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ	開催年月
1	埼玉県立大学専門職連携・協働講座	埼玉県立大学	スキルアップ講座	2016.1
2	埼玉県立大学専門職連携・協働講座	埼玉県立大学	アドバンス講座 地域ケア会議	2016.5～2016.8
3	2016年度社会福祉士実習指導者講習会	埼玉県立大学	実習指導概論 講師	2016.6
4	高校生への出張講座	群馬県立伊勢崎清明高等学校	「社会福祉とニード」	2016.7
5	春日部市ふれあい大学 講師	春日部市	高齢者福祉と介護保険制度	2016.7
6	高次脳機能障害研修会講師	地域で共に生きるナノ(埼玉県委託事業)/さいたま市	高次脳機能障害患者を支援する	2016.1
7	高次脳機能障害研修会 パネリスト	地域で共に生きるナノ(埼玉県委託事業)/越谷市	高次脳機能障害患者を支援する	2016.3
	キュービー株式会社と埼玉県立大学学生ボランティア団体との協働企画 地域住民のための栄養講座	キュービー株式会社&埼玉県立大学	「栄養をとる大切さ」を学びなおしてみませんか?	2016.4
	みさと団地住民との意見交換会講師	みさと団地プロジェクト	みさと団地における現状と課題	2016.6
	介護予防・日常生活支援総合事業 に関する研修会講師	地域で共に生きるナノ主催	「介護予防・日常生活支援総合事業に何が求められているのか?」	2016.6
	医療介護における連携課題 講師	川越市地域包括支援センターみずほ	「実践における医療介護等連携の地域課題」講師	2016.9
	「医療連携に必要な基礎知識」講師	介護労働安定センター	「医療連携に必要な基礎知識」	2016.12
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等				
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称		任期
1	一般社団法人 地域ケア総合評価機構	理事		2011～現在
2	越谷市医師会事務局医療と介護連携世話人会	世話人委員		2015～現在

3			
(3)ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
5. 学内運営(委員会委員)			
1	研究推進委員会:共同実験管理部会		
2	地域産学連携委員会		
3	学校連盟・社養協		
4	専門職連携・協働講座検討部会		
5	地域専門職連携推進部会 ・埼玉南専門職連携推進会議担当【オブザーバー】 ・さいたま・県央専門職連携推進会議担当		
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
	該当なし		